2007年（平成19年）
12月19日号 No.202
年7回(4・6・8・10・12・1・2月) 発行
発行　市川市消防局
〒272-0021　市川市八幡1丁目8番1号
TEL　047-333-2111㈹　FAX　047-333-8181
ホームページ　http://www.city.ichikawa.chiba.jp/fire/

こちら119番

消防テレホンガイド
☎ (333) 3636
火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数（11月末日現在）
◆火災　113件【前年比　-25件】
◆救急 17,556件【前年比　-255件】

歳末特別火災予防運動実施中

火は見てる　あなたが離れる　その時を

12月15～31日

早いもので、今年も残りわずかとなりました。

日に日に寒さが厳しくなり、空気が乾燥し一段と火災が発生しやすい気候が続きます。そして年末の慌ただしい生活が続いたりすると注意力が散漫になり、ちょっとした不注意が火災を引き起こす原因となってしまいます。暖房器具やガスコンロなど火の取り扱いには十分注意し、お出かけ前やお休み前には必ず火の元の点検をお願いします。

また、消防局では毎年12月15日から31日まで歳末特別火災予防運動を実施しています。期間中は消防体制を強化し、消防職員・団員が夜間パトロールを行います。みなさんも尊い命、大切な財産を火災から守るため、火災予防運動にご協力をお願いします。

家庭の防火対策は万全ですか？

昨年、市川市では155件の火災が発生しました。

原因別に見ますと「放火及び放火の疑い」が38件で15年連続して出火原因の第1位となっており、次いで「こんろ」23件、たばこ17件の順となっています。

家庭の防火対策は家の中だけではなく家の周囲も含めて次のことに注意しながら、防火対策を万全にしましょう。

住宅防火　命を守る　7つのポイント

3つの習慣

○ 寝たばこは、絶対にやめる

○ ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する

○ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

○ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

○ 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する

○ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する

○ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

もうすぐお正月　お餅などの食べ物の窒息事故にご注意を！

食べ物による窒息事故は、一年を通して発生していますが、これからお正月を迎えるとお餅による窒息事故が多く発生します。お正月にお餅を使った料理を食べるという日本の食文化のためか、この時期は多くの方がお餅をのどに詰まらせ、窒息するという事故が毎年発生しています。特に多いのが噛む力や飲み込む力が弱くなり、詰まりかけたときにむせる反応が弱くなってきたお年寄りによる窒息事故です。また最近は、お餅ばかりでなくお肉やコンニャクなど様々な食べ物での窒息事故が発生していますので、お年寄りや小さなお子様のいるご家庭は特に注意してください。

窒息事故を防ぐポイント

○ お餅や肉片は、小さく切って食べやすい大きさにしましょう

○ 食事の際は、お茶や水を飲んで喉を湿らせるなど水分と一緒に食べるようにしましょう

○ 急いで飲み込むことなく、ゆっくりと噛んで食べるようにしましょう

○ 食事は1人でなく、家族の方などと一緒に摂るようにしましょう

職場を守る消防隊　事業所自衛消防操法大会

10月10日(水)消防訓練場において、平成19年度事業所自衛消防操法大会が行われました。

この大会は、市内各事業所の自衛消防隊員が119番通報並びに消火器の使用と屋内消火栓設備の操作技術に習熟し、初動対応の基本を身につけることにより、火災等の災害発生時に迅速かつ的確に対応できる自衛消防体制の確立を図ることを目的に開催されているものです。

今年から実施要領を変更し、自動火災報知設備のベルが鳴動するところから始まり、119番通報、消火器による初期消火、さらに屋内消火栓使用による消火訓練までが一連の動作というように、より実践に近い形で実施されました。

今年も各事業所から、16チーム(48名)の自衛消防隊員のみなさんが出場し士気旺盛に日頃の訓練成果を存分に発揮していました。

大会結果については、次のとおりです。

最優秀賞
京葉瓦斯株式会社（男子チーム）
優秀賞
TDK株式会社テクニカルセンターB（女子チーム）
優良賞
東京地下鉄株式会社
浦安駅務管区行徳地域（男子チーム）
敢闘賞
東洋合成工業株式会社　市川工場（男子チーム）

大会に参加された事業所のみなさん、大変お疲れ様でした。

最優秀賞　京葉瓦斯㈱チーム

新春恒例　市川市消防局60周年記念　市川市消防出初式

日時　平成20年1月12日(土)
9時30分～11時20分
会場　消防訓練場
（稲荷木2丁目地先江戸川河川敷）
内容
○消防功労者表彰
○木やり、はしご乗り
○消防音楽隊ドリル
○消防車両分列行進
○特別救助隊訓練展示
○消防団一斉放水訓練
○よさこいソーラン
※雨天の場合は、消防局5階ホールで式典のみを行います。

問い合わせ
消防局総務課☎333・2111

みなさんのご来場をお待ちしています。お誘い合わせのうえ、是非お越しください。

広がる災害救助の輪「緊急消防援助隊」

平成19年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練参加

緊急消防援助隊とは？

緊急消防援助隊は、平成7年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓から、国内で発生した地震等の大規模な災害における人命救助活動などをより効果的に行うため、全国の消防機関による相互応援体制を確保する目的で、平成7年に創設されました。緊急消防援助隊は、消火・救助・救急等の部隊に区分されており、災害の種類・態様に応じて出動できるよう部隊種別ごとに全国の消防本部が部隊登録をしています。平成19年4月現在で、780消防本部から3751隊（重複登録を除く）の登録となり人員規模は約44000人の体制となっています。千葉県では消火部隊、救助部隊など168隊が登録をしており、市川市はそのうち11隊で、過去には平成16年10月に発生した新潟県中越地震に出動しています。

平成16年に発生した新潟中越地震救助活動現場

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

大規模災害活動時における緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を目的に、平成8年度から全国を6つのブロックに分け、毎年地域ブロックごとにそれぞれの開催地域の特性を踏まえた多種多様な実効性のある訓練を計画し、合同訓練を行っています。

今年の緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は、10月20日（土）、21日（日）に群馬県前橋市で開催され、市川市からは救急部隊1隊と後方支援部隊2隊7名の隊員が参加しました。

20日（土）午前6時に群馬県前橋市付近を震源とする直下型地震が発生。地震の規模はマグニチュード7．2。前橋市では震度6強を観測し、建物の倒壊及び火災が多く発生し、多数の負傷者がいるという想定で訓練が行われました。

千葉県隊7消防本部19隊63名）集結訓練として、市川市を含む千葉県隊（他に千葉市や船橋市など）は、20日の午前9時30分に関越自動車道三芳パーキングエリアに集結後、情報伝達訓練会場（被災地の情報が提供される場所）の桐生市を経由して、前橋市の訓練会場に向かいました。到着後は、活動方針などを決定する作戦会議や、隊員の食・住を確保する訓練である野営訓練などで1日目の訓練が終わりました。翌日は集団救急対応訓練、土砂災害救出訓練やNBC災害対応訓練などの総合訓練が行われ、市川市の救急部隊は倒壊した建物から救出された重傷者に応急処置を施しながらヘリコプターまで搬送する訓練を行いました。最後に千葉県隊の解散式が行われ、全ての訓練が無事に終了しました。

来年の訓練は、神奈川県で開催される予定です。

第47回消防職員意見発表会

11月13日（火）消防局5階ホールにおいて「第47回消防職員意見発表会」を開催しました。

この大会は、消防職員として業務を遂行していくうえで、普段から感じていることやこれからの消防業務のあるべき姿や職務においての提案・取り組みなどを発表し、併せて意見性、表現力の向上を図ることを目的として開催しています。

各所属の代表13名が消防業務に関するテーマについて意見を発表しました。うち、上位2名が来年2月14日（木）、八千代市で開催される千葉県大会に市川市代表として出場します。

選考の結果、南消防署小関竜也消防士長と東消防署土屋俊憲消防士長が代表として選ばれました。2人の県大会での素晴らしい発表を期待します。

県大会に出場する小関（左）、土屋（右）

普通救命講習

○日　時　平成20年1月20日（日）午前9時～12時
○場　所　八幡1丁目8-1　消防局 5階ホール
○定　員　60名（無料）
※　申込みは、平成20年1月5日（土）
午前9時から受付を開始します

消防局　電話　333-2111（代）

～命をつなぐ連係プレー～

地域の安全と安心を守る
◇消防団員募集中◇

◇応募資格　市内居住または市内で勤務している18歳以上の方
◇問い合わせ　施設装備課　電話333－2154
（夜間、休日は、333－2111（代）へ）